

た(同時に同所で採集された1♀の御恵与に預った, 27, VII 1984)。早速8月5日同所に早朝(と云っても午前6時40分)行って見た。たゞ此の時間帯では遅いのか数匹いる程度で可成り古くなった不完全死体がいづらか見られた。夜間に来ればもっと多く飛来しているのかもしれない。公園内も一通り歩いて見たが死体は割合あったが生きたのはほとんど見られなかった。一応4♂, 4♀を採集。この地での最盛期はもう少々前なのかも知れない。この場所は海のすぐそばである。この地から西の方垂水, 舞子, 明石公園と本種は分布している。いづれも海岸線に非常に近い地点ばかりである(本年舞子墓地の側溝で8月9日1♂, 1♀の完全死体を拾う)。

ところで鳥原貯水池畔では従来からほとんど本種が採集出来ない。本年も1♀(30-VII-1984), 1♂(7-VIII-1984)が採集出来ているだけである(いづれもドウガネと一緒にノブドウに来ていたものである。ドウガネの方は大変多い)。これ位しげく調査に行っているのだからいとすればもっと採集出来そうなものである。食草の関係からなのか, 良くわからない。新家 勝氏は御自身宝塚大橋で採集された1♂(5-IX-1979)を本年見せて下さってこの時期宝塚大橋の電燈に多く飛来することを御教え下さった(同時に宝塚市の市街地には多いが山間部には少いようだとのべておられ, 市内鳥ヶ脇で撮られた本種のカラー写真を送って下さった。28-IX-1983)。本年8月13日には宝塚市清荒神の境内にいたと云って元気な1♂を紙に包んで愚妻が持って帰ってくれた。このあたりには割合いそうである。本種は海岸線ぞいに多くいることは間違いないが海岸線から離れてどのあたりまでどの様に分布しているのかの点ではまだまだ調査を続けて見ないといけない。

(Sep. 1984)

ソボリンゴカミキリの六甲山系における採集例

芦田 久

ソボリンゴカミキリ *Oberea sobosana* Ohbayashi は兵庫県においては中央部の篠山町などから記録があるが, 六甲山系からは未記録のようである。筆者は六甲山系の東端にあたる西宮市角石町で採集された本種を所有しているので記録しておく。

1ex, 23. VI. 1980, 西宮市角石町甲陽学院高校構内, 佐藤 学 採集

採集された場所は, 標高約150mで, 樹相はアカマツ, クスギ, ヤシヤブシなどを中心としており, 林床にはヤマツツジが自生している。採集個体はこの林床を飛翔中であつたとのことである。

また本種はツツジ類を食樹としており, 庭木などのツツジについて移入されるケースが多いと言

われているが、当地においては自生しているヤマツツジを食している可能性が高い。ただし約2年にわたる調査で唯一頭しか得られなかったことなど、問題も多く含んでおり、追加記録、生態説明が望まれる。末筆ながら、同定していただいた大平廣士氏、並びに標本を快く恵与していただいた佐藤 学氏にお礼申し上げる。

神戸市立森林植物園展示館へ蝶標本寄贈

高 橋 寿 郎

既に御承知の通り神戸市立森林植物園内に展示館が完成1984年5月27日に開館一般に公開されましたが、これを機に“世界の蝶”と題して430種、132亜種、1210頭の蝶標本を寄贈させて頂きました（他に蛾8種、12頭、1箱—大型美麗種。一般昆虫40種、90頭、2箱）。ドイツ箱大53箱で蝶の内アゲハチョウ科が最も多く、240種、101亜種、815頭がふくまれています。之等の標本は逐次一般に公開される予定になっております。

(Sep. 1984)

神戸市立森林植物園展示館 及び 神戸市立住之園公民館にて甲虫標本展示

高 橋 寿 郎

5月26日に竣工した森林植物園展示館で参考出品として“世界の甲虫”と題して大きいもの、美しいものを中心に7月1日までドイツ箱8箱にタマムシ38種 84exs., カミキリムシ26種, 51exs., クワガタムシ9種, 38exs., コガネムシ（主としてカブト, ハナムグリ, テナガコガネ）21種, 68 exs. を入れて展示。

また神戸市立住之江公民館からの依頼もありこちらは“コガネムシの仲間”と題して食莖類コガネ149種, 842exs., 食葉類コガネ 140種, 634exs. をドイツ箱大12箱にて展示共に簡単な解説をつけた（6月28日～7月1日）。